



平成 29 年 9 月 12 日

報道関係各位

特別展示「福生むかし絵Ⅱ」の開催のお知らせ

福生市郷土資料室では、9月23日（土）から11月26日（日）まで、特別展示「福生むかし絵Ⅱ」を開催します。

この特別展示では、福生市在住の窪田成司氏の筆による、絵巻物を含む記憶画約50点を公開するほか、期間中に展示解説会も実施します。

■記憶画とは

記憶画とは、昔の街並みや生活風景などを確かな記憶に基づいて描いた絵画のことです。これらの情景に関する写真や図面などの資料が残されていない場合、それを補う歴史資料としても注目が集まっています。

近年では、明治大正期の筑豊炭鉱の様子を描いた山本作兵衛作「炭鉱の記録画」が世界記憶遺産に登録されるなど、その重要性が認められています。



■窪田成司氏について

窪田成司氏は、昭和6年に現在の福生市永田地区に生まれました。家業である左官業のかたわら、平成4年ごろから記憶を基に昭和10年代の福生の風景などを描き始め、86歳になる現在でも、次々と記憶画を描き続けています。

これまで窪田氏が描いたこれらの記憶画は、福生のむかしの風景を知る人びとの証言や、わずかに残された当時の写真との照合から、大変正確なものであることが判明しています。

■展示の見どころ

「宿橋通り家並絵図」は昭和12～13年ごろの宿橋通りの北側と南側それぞれを描いた絵巻物で、当時の宿橋通りの賑わう街並みをうかがい知ることができます。また、「御神輿巡行絵図」では、酒樽を利用して作られた樽神輿を用いておこなわれた活気あふれる祭の様子がいきいきと描かれています。

■問合せ

生涯学習推進課文化財係（福生市郷土資料室） TEL042-530-1120